

# 総務常任委員会記録

平成30年10月18日(木)午後1時28分～午後1時45分(9階908会議室)

## ○出席委員(7名)

委員長	小松 良行	副委員長	阿部 亨
委員	萩原 太郎	委員	羽田 房男
委員	小野 京子	委員	粕谷 悦功
委員	宍戸 一照		

## ○欠席委員(1名)

委員 土田 聡

## ○議題

所管事務調査「広報政策に関する調査」

1. 参考人招致について
2. 行政視察について
3. その他

---

午後1時28分 開 議

(小松良行委員長) ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

本日、土田委員より欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。

初めに、参考人招致を議題といたします。

正副委員長手元で参考人招致の実施要領案を作成いたしましたので、ごらんいただき、ご説明をさせていただきますと思います。

出席依頼者並びに聴取する意見の内容については、前回お諮りしたとおりであります。

当日の進め方につきましては、まず初めに委員会を開会して、当日の流れを再度確認した後に、参考人の方をお迎えして、参考人招致を開始いたします。なお、予定では参考人の意見の開陳が45分、その後質疑応答を約45分実施いたし、計1時間30分程度の予定で参考人招致を終了したいという考えでおります。参考人をお見送りした後にまた委員会を再開し、意見の開陳を行っていただければと思っております。

裏のほうといいますか、2ページ目に行きまして、6の報道機関の取材について以降は、これまでの参考人招致の際と同様にさせていただきますので、ご確認をお願いいたします。

最後に、日程についてお諮りをさせていただきますと思います。候補日については、議会日程、さらには先様の都合がありまして、ピンポイントなのですが、11月の22日木曜日午後3時、15時からと

させていただきたいのです。一部委員のほうからせんだってどうしても都合悪い日ありますかなんてお尋ねしまして、そこを除いての、また先様の都合ということでここしかないという日程なのでございまして、大丈夫でしょうか。皆さんのほうは大丈夫ですね、何とか。11月22日木曜日15時から、どうかひとつ万障お繰り合わせの上、この日程でお願いをしたいと思います。いいですか、ここまでは。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) ひとつそのようによろしくお願いをいたします。

次に、行政視察についてを議題といたします。

前回お諮りいたしました視察先について、各自治体の特色ある取り組みについてということで、事前の質問という形で依頼をし、説明を受けたいと考えておりまして、事前の質問事項につきましては、前回お配りした資料に主な視察項目として掲載させていただきましたけれども、以前の委員会において当局説明の振り返りとしてまとめさせていただいた事項ごとに、どの自治体でこれらを聴取できるのかというものをこの資料1のほうにまとめさせていただきました。

まず、広報効果の検証についてでありますけれども、磐田市において広報戦略プランに明記されているため、事前質問させていただき、当日のご説明をいただく予定であります。なお、岡崎市、杉並区においても広報課にご対応いただくために、実際は効果の検証を行っているかも含めて、詳細は不明ではあるのですが、質疑の中で確認は可能であると思われまます。

次に、テレビなどマスメディアを使った広報については、広報効果の検証と同様、磐田市において当日の説明をいただく予定でございます。岡崎市、杉並区において質疑の中で確認は可能であろうかなというふうに考えております。

次に、広報戦略会議については、調査のポイントとして、市全体に横串を刺して広報やプロモーションを主導していく必要があるとしておりますけれども、磐田市においては各課情報の一元化や重要政策情報のコントロール力強化といった事例が、杉並においては重点広報活動という事例が該当すると思われまますので、それらについて説明を受けたいと思っております。

次に、若年層向けの広報ということについてですが、どの自治体においても明確な先進事例というのはちょっと確認できていなかったため、岡崎市、磐田市、それから杉並において質疑の中で確認する必要があるかなというふうにも思われまます。

シティープロモーションのほうでございますけれども、岡崎市、それから八王子市で重点的に伺いする考えでありますけれども、岡崎市は平成30年度からについては第2期のアクションプランの時期に入るなど、事業を進めておりまして、先月シティープロモーションの公式ホームページをリニューアルするなど、積極的な取り組みについて伺えると考えております。同時に、1期を終えての現状と課題についても伺いたいと考えております。また、八王子市につきましては、市内に多くの大学があるという市の特徴から、若年層と大学生にターゲットを絞るということや、成果の指標を設定し、効果の測定を行うこととしているなど、長期にわたり戦略的にプロモーション事業を行っていく

ための手法をお伺いできると思われま。なお、岡崎市や八王子市の両市に共通して、シティープロモーションの戦略や基本方針などを策定する前段で、岡崎市であればインターネットによる認知度などの調査や、八王子市では意見交換会や大学生によるワークショップなど、事前の取り組みを行っているために、これらの取り組みについてお伺いする予定であります。

広報全体ということについては、調査のポイントを前例にとらわれずに効果的な広報を行う必要があるとさせていただいておりますが、こちらについては各自治体の取り組みについて説明を受ける中で該当するような事例を確認して、必要により質疑を行っていくということになると思います。

最後に、その他としてでございますが、専門的な知識を持った職員等も必要というところで、杉並区においては広報専門監を委嘱しているため、その取り組みについて説明を受ける予定であります。

なお、参考まででございますけれども、資料2として、今ほど申し上げました内容をまとめた各自治体の広報、シティープロモーション、それぞれの特徴を簡単に表にまとめておりますので、ぜひご確認をいただければと思っております。

正副委員長としては、このような観点で視察を行っていきたいと考えております。

それでは、その他皆様のほうからご意見などございましたらお述べいただきたいと思。よろしくお願。いします。

なお、本日欠席であります土田委員についてですけれども、事前に質問したい事項などあれば委員長の私か事務局まで連絡を、あるいは改めて説明を求められたということであれば、事務方なり私のほうからご説明をさせていただければと思っております。

では、皆さんのほうから何かご質問、ご意見等ございましたらお願。いします。

(**宍戸一照委員**) 岡崎市の場合は、資料の2に書いてあるとおり、戦略等策定以前の取り組みとして認知度をインターネット等で調査をしているというふうに書いてありますけれども、あと磐田市においては広報効果の検証というようなことで書いてありますね。それがお聞きしたい点かなというふうにあるのですけれども、岡崎市も磐田市、杉並とか八王子はともかくとしても、ここは効果の検証とか、それをやっぱりもう少しお聞きできれば、どういうふうに効果検証しているのですかと、もしくは意識、どういうふうに認知されているのですかとか、その前段となる部分についてどういうふうに市当局が認識しているかということが、福島市は少しはやっているのでしょうかけれども、やっていないということを考えれば、やはりその辺の取り組みの仕方というか、それをお聞きできればいいのかなということなので、この2市においてはそういうものをお聞かせいただければなというふうなのが質問として出していただければ我々にとって効果検証ということがわかるのかなというふうに思います。

(**羽田房男委員**) 視察の内容ではなくて、今ほど宍戸委員からおっしゃったようなところを調査できればいいのかなというふうに思っております。前回の当局に対しての要請に対する見解と。いいますか、土田委員直接お聞きになったのかどうなのかわかりませんが、同じ会派の方にちょっとお伺い

をしたところ、いや、そこまではというようなおっしゃり方なのです。ですから、会派としてどうなのというふうに、会派としてそうなのですか、いや、そうではないのだと、個人かいと言ったら、いや、そう言われてもということなので、その辺は議論をしますというところでお持ち帰りいただいたような形なのですが、退席までしたのですよということになったときに、行政視察という公務にあたって、例えば当局が同行するので、私は行きませんか、そんな話にはならないので、その辺はきちんと言ってくださいねということでお話をさせていただきました。土田さんと話す機会はなかったのですが、どういうことかわかりませんが、正副委員長のほうでこの前の一件でお尋ね等々あって、どういうふうにお答えになったのか、もしあれば教えていただければというふうに思います。

(小松良行委員長) 特段機会を捉えて本人に確認するといった手だては講じてはございません。と申しますのも、この後この視察先のところと、視察の案を確認して、了となった後にお話をさせていただきたいと思っておりましたけれども、その前に申し上げてしまいますが、実のところ皆さんの、土田委員以外は了とするところで、担当課のほうに打診を内々に委員長、副委員長手元でさせていただいたところ、同行はできるかと、そういうことで内々に尋ねたところ、今回は日程の都合上厳しい状態でありますということでの不参加、お断り、日程の都合上できないという回答であったために、正式なご依頼をしておりません。ということであれば、またわざわざその部分で土田委員を訪ねておたしするというには至らないかなと、かように考えてそうした対応はさせていただいておりませんでした。羽田委員のほうから個人的にいろいろお尋ねいただいて、私も聞くところによると会派としての意思決定、視察の同行に関しては一致した対応、見解を持っているわけではない部分、あらかじめ他の委員から伺っておりましたので、今回はわざわざそのようなことの対応はそういった事情からいたさなかったということでもあります。

話を戻しまして、この案で進めさせていただいてもよろしゅうございますか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) ありがとうございます。そのように進めさせていただきたいと思います。

なお、ただいま申し上げましたとおり、当局のほうに私どもの日程とこういった視察スケジュール等々も内々にお伝えしながら、ご同行可能かどうかということでお話をしましたところ、どうしても日程の都合上同行は難しいという回答でございましたので、正式な文書での打診は見送らせていただいたということでございますので、ご了承願いたいと思います。

それでは、その他を議題といたします。

正副委員長からは以上となりますが、そのほか皆さんのほうから何かございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) なければ、以上で総務常任委員会を終了いたします。

午後1時45分 散 会

総務常任委員長 小松 良行